

地震活動解説書 2024 年 3 月 1 日から同年 4 月 1 日 11 時までの地震解説
月別地震発生回数及び EEW 発表回数は、3 月中に発生もしくは発表されたものであり、4 月に
発表されたものに関しては含んでいません。

また、第一報の発表回数で、報数をすべて含んだ数ではありません。

【月別地震発生回数】		【月別 EEW(警報)発表回数】	
3 月	184 回(震度 5-:2 回)	3 月	2 回(詳細は解説内)

○地震発生回数順の震源地

注：ここでは 3 月 24 日～3 月 31 日 正午までのものに限って表記しています

※能登半島沖の発生回数未滿の地域は多数あり発生回数が同率であったため記載しません

回数	震源地	最大震度
11 回	石川県能登地方	震度 3
05 回	能登半島沖	震度 2

解説：

表内に記載はないものの、石川県能登地方・能登半島沖に関しては、1 月 1 日発生の「令和六年能登半島地震」の余震が続いている。よって、継続的な地震だと言える。また地震発生時から比べると観測した最大震度が徐々に小さくなってきている。また、昨月の地震活動解説書においても発生回数が減少傾向であるため、静穏化してきている。

また、千葉県東方沖・千葉県南部では 2 月 27 日より地震が活発していたが、今月中に観測した回数でも静穏化してきている。しかし、時折震度 2 程度の地震が発生することがあるため、まだ完全な地震活動の静穏化だとは言えない。また、気象庁及び地震調査委員会は、過去に最大 2 ヶ月程度地震活動が続いたこともあったということからやはりまだ油断はできないが、最大震度 4 以上の地震が発生する確率はとても低く、最大震度 5 弱程度の地震が発生した際は、この地震活動関連での地震とは考えることが難しい。

今月福島県沖と、茨城県南部にて最大震度 5 弱を観測する地震が発生しました。福島県沖の地震は「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」での一連の地震活動の余震である。また、茨城県南部での地震は深さ 46km であったためフィリピン海プレートが陸のプレートに沈み込んだ内部で発生した地震でこの地域では、地震活動がもともとから活発な場所であったため特段に緊急性が考えられる地震ではなくまた、大地震との関連性のある地震でもない。そして、千葉県東方沖で活発化している一連の地震活動との関連性があるものと裏付ける根拠がなく、発生要因及び、発震機構等においても違っている点から関連性がない。

本書で言う「最新の地震・津波情報」とは、JMA から取得した正確な情報のことです。